

さががけデータベース 利用規約

第1条 目的

1. 本規約は、秋田魁新報社(以下甲)が提供する記事データベースサービスについて、会員(以下乙)が利用するにあたっての契約条件を定めるものとする。

第2条 会員

1. 乙は、本規約を承認のうえ、甲所定の入会手続きを経て入会の承認を得るものとする。
2. 乙は原則として法人(団体、企業)とする。

第3条 サービス

1. 甲は、乙に対し記事データベースの検索サービスを提供する。
2. 甲は、乙に提供するサービスについて、事前に通知することなく内容の追加・変更・部分改廃などをできるものとする。
3. 甲は、本サービスで提供する情報に関し、その正確性、完全性、有効性について保証しない。

第4条 ID、パスワード

1. 甲は、入会の承認に伴い、乙にIDおよびパスワードを貸与する。乙は、契約終了の時点においてIDおよびパスワードを甲に返還する。
2. 乙は、貸与されたIDおよびパスワードの管理について一切の責任を持ち、外部への漏洩を防止するため適正に管理する。
3. 乙は、貸与されたIDおよびパスワードを第三者に貸与もしくは使用させてはならない。

第5条 利用料金

1. 乙は、利用の対価として甲に対し、甲の指定する方法で別途定める料金を支払うものとする。
2. 乙が支払った料金は、原則として返還しない。
3. 甲は、料金およびその支払い方法を変更または新設できるものとする。その場合、乙に事前に通知する。

第6条 サービスの中断、停止

1. 甲は、システムの保守点検のため、システムの運用を一時停止することがある。この場合、事前に乙に通知する。ただし、緊急時には予告なしで停止できるものとする。
2. 保守点検によりサービスが停止した場合について、乙は甲に対しその責任を問わないものとする。
3. 天災地変など、甲が合理的に管理できない偶発的な障害によって発生したサービスの中断、不履行について、乙は甲に対しその責任を問わないものとする。

第7条 著作権保護、利用上の注意

1. 本サービスで提供する記事、写真などの著作権は、甲及び共同通信社に帰属し、著作権法や国際条約により保護される。乙が利用できるのは過去の記事を検索し閲覧することに限る。これらの著作権を侵害することを禁じる。
2. データベースの利用において、乙は下記各号を厳守する。
 - (1) 乙は、本サービスを通じて入手したいかなる情報も第三者に対して複製・貸与・販売・出版・翻訳・送信・配布してはならない。
 - (2) 検索結果のデータに関する乙の使用範囲は、ディスプレイ上の表示またはプリンタによる印字に限るものとし、電子媒体等に保存することは認めないものとする。
 - (3) 甲および第三者のプライバシー、名誉、その他の権利を侵さないこと。
 - (4) その他、甲が不適切と判断する行為を行わないこと。

第8条 利用権の失効

1. 甲は、乙が以下の事項に該当すると判断した場合、事前の通知なしに乙のサービスの利用を一時停止もしくは乙の会員登録を抹消することができる。
 - (1) 本規約のいずれかの条項に反する行為。
 - (2) データベースの破壊または運用を故意に妨害する行為。
 - (3) ユーザーID、パスワードを第三者に貸与、開示等する行為。
 - (4) データベースサービスの利用権を他人に譲渡または売買する行為。
 - (5) 公序良俗に反する行為。
 - (6) 料金を2カ月以上滞納した場合。

第9条 損害賠償

1. 甲は、サービス利用によって発生した乙の損害について、一切の賠償を行わないものとする。
2. 乙はサービス利用によって第三者に損害を与えた場合、自己の責任において解決にあたる。

第10条 契約期間、解約

1. 本サービスの利用契約期間は、原則、契約締結の日より1年間とする。ただし、契約初年度に限り、3月31日までの契約期間とする。
2. 乙が利用契約の解約を希望する場合は、契約終了期限の1カ月前までに文書で通知することにより解約することができる。
3. 契約終了期限の1カ月前までに解約の通知がない場合、利用契約を自動更新したものとする。

第11条 規約変更

1. 甲は、乙の事前承諾を得ることなく本規約を変更できるものとする。

第12条 合意管轄裁判所

1. 甲と乙の間で訴訟が生じた場合は秋田地方裁判所を合意管轄裁判所とする。

第13条 信義誠実の原則

1. 甲と乙は、本規約に定めのない事項および本規約の解釈に疑義が生じた場合には、当事者双方が信義誠実の原則に従って協議するものとする。

第14条 発効

1. 本規約は2011年4月1日から発効する。